

被爆80年 平和の櫛を 広島に行進団へつなぐ



猛暑の中の平和行進はいよいよ広島へ最終日は、笠岡市役所から広島県福山市大門までが岡山県の行進です。

岡山県内でたくさんの平和の願いを託された行進団は、最後の行進を一步一步、平和の階段を上るように進めていきます。

平和行進は、歩く人、応援する人、見守る人、たくさんの思いが支えています。

出発集会 笠岡市役所では栗尾典子市長からの平和の重要性を強調されたあいさつの代読がありました。市長からのパナントをいただきました。

笠岡市城見地区では今年も城見地区更生保護女性部の皆さんが、そうめんを用意して行進団を迎えてくださいました。

広島県への引継ぎ集会が福山市大津野石碑公園で行われました。

岡山県を代表して県母親連絡会の豊田依子さんが岡山県の行進者にねぎらいの言葉をかけ、「参院選挙では核兵器をもった方が安上がりという党ができたが、みんなの力で核のない世界を目指し頑張りましょう」と挨拶されました。



笠岡城見地区更生保護女性会のみなさんと行進団